

2. 授業科目の概要

2 授業科目の概要

<保健医療技術学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎分野 (次頁へ続く)	人間共生論	1前	2								兼 3 2 授業内容の充実を図るため、兼任教員を追加 (26) 兼任 森下英美子を追加
	新・文明の旅特講 a	1・2・3前		2							兼 3 2 授業内容の充実を図るため、自学部他学科の教員へ変更 (26) 島田昌和 → 中俣 修 齋藤 慶一郎 平成27・28年度は未開講 (27)
	新・文明の旅特講 b	1・2・3後		2							兼 3 2 授業内容の充実を図るため、自学部他学科の教員へ変更 (26) 島田昌和 → 中俣 修 齋藤 慶一郎 平成27・28年度は未開講 (27)
	新・文明の旅総合講義	1・2・3・4前		2							兼 3 2 平成26年度は未開講 (26) 授業内容の充実を図るため、自学部他学科の教員へ変更 (27) 島田昌和 → 中俣 修 齋藤 慶一郎
	地球環境論 I	1前		2							兼 1
	地球環境論 II	1後		2							兼 1
	心理学概論	1前	2								兼 1
	人間関係論	1後	2								兼 1
	生命科学 (生命倫理)	1後	2								兼 1
	哲学	1前		2							兼 2 授業内容の充実を図るため、兼任教員から専門性の高い兼任教員へ変更 (26) 小泉博明 → 吉田修馬
	法学	1前		2							兼 1
	医療心理学	3前		2							兼 1
	医療経済学	1後	2								兼 1
	保健体育学	1前		2							兼 1
	保健体育学実習	1前		1							兼 1
	国語表現論	1前・1後 4前	1								兼 1 授業内容の充実を図るため、2クラスに分けて同授業を前・後期に実施するため開講時期を変更 (26)
	英語 I	1前	1								兼 1
	英語 II	1後	1								兼 1
	医療英語演習 I	2前	1								兼 2 授業内容の充実を図るため、専門性の高い兼任教員を追加 (27) 兼任 橋広司を追加
	医療英語演習 II	3前		1							兼 1
	物理学	1後 4前		2							兼 1 系統別授業の見直し (前期で数学を履修した後に物理学を履修) により開講時期を変更 (26)
	生物学	1前	2								兼 2 授業内容の充実を図るため、兼任教員を追加 (26) 兼任 野部裕美を追加
	化学	1前		2							兼 1
	数学	1前		2							兼 1
統計学 (保健統計学含む)	1後	2								兼 1	
海外異文化理解・研究 I	2・3・4前		4							兼 1	
海外セメスター語学研修 I	2・3・4前		4							兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	海外異文化理解・研究Ⅱ	2・3・4前		4							兼1	
	海外セメスター語学研修Ⅱ	2・3・4前		4							兼1	
	海外語学(英語)研修Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	海外語学(英語)研修Ⅱ	2・3・4前		2							兼1	
	海外語学(該当英語外)研修Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	海外語学(該当英語外)研修Ⅱ	2・3・4前		2							兼1	
	海外語学(中国語)研修Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	海外語学(中国語)研修Ⅱ	2・3・4前		2							兼1	
専門基礎分野 (次頁へ続く)	人体の構造と機能Ⅰ(解剖・生理学)	1通 1前	3								兼1 2	カリキュラム編成の見直しにより解剖学分野の授業内容(医師の観点から教授)とするため開講時期と担当教員を変更(26) 樋口桂(解剖)・坂井泰(生理) → 山口久美子(解剖)
	人体の構造と機能Ⅱ(解剖・生理学)	1通 1後	3								兼2 1 2	カリキュラム編成の見直しにより生理学分野の授業内容とするため開講時期と担当教員を変更(26) 樋口桂(解剖)・坂井泰(生理) → 坂井泰(生理) 授業内容の充実を図るため、専門性の高い兼任教員を追加(27) 兼任 山口(秋山) 真紀を追加
	生化学	1前	2								兼1	
	栄養学	1後	1								兼1	
	運動学	1後	1								兼1	
	人間の発達と健康Ⅰ(母胎期～青年期)	1後	2			2 1 3	2 1 4				兼2	カリキュラム編成の見直しにより成人領域の内容を他科目で実施するため一部担当教員の適用を除外(26) 27年度就任の専任教員は26年度のみ兼任教員として採用(26) 中村由美子(教授)→兼任 大橋優紀子(准教授)→兼任 専任教員として就任(27) 中村由美子(教授) 大橋優紀子(准教授)
	人間の発達と健康Ⅱ(成人期～老年期)	2前	2			2	2		2 1		兼1	授業内容の充実を図るため、専任教員を追加(27) 助教 安藤千晶(老年)を追加
	病理学	2前	2								兼1	
	微生物学	1後 1前	2								兼1	時間割調整の結果、開講時期を変更(26)
	生体防御学	1後	1								兼1	
	薬理学	2前	2								兼1	
	病態治療学Ⅰ	2前	2			1					兼10 2	授業内容の充実を図るため、専門性の高い兼任・兼担教員を追加(27) 医師 二神生爾(消火器内科) 医師 辰口篤志(消火器内科) 医師 藤田和恵(呼吸器内科) 医師 茂木孝(呼吸器内科) 医師 弦間昭彦(呼吸器内科) 医師 須田智(神経内科) 医師 阿部新(神経内科) 医師 原田結花(血液内科)
	病態治療学Ⅱ	2前 2後	2			1					兼11 2	授業内容の充実を図るため、専門性の高い兼任教員を追加(27) 医師 長尾元嗣(内分科) 医師 稲垣恭子(内分科) 医師 桑名正隆(膠原病・リウマチ科) 医師 峯克也(産科・婦人科) 医師 竹下俊行(産科・婦人科) 医師 大久保公裕(耳鼻咽喉科) 医師 飯澤典茂(整形外科) 医師 原田太郎(内分・代謝内科) 医師 富野康日己(腎臓内科) 時間割調整の結果、開講時期を変更(27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎分野	臨床検査学	2前	2								兼 1	時間割調整の結果、開講時期を変更(27)
	公衆衛生学	2前	1								兼 1	
	保健医療福祉行政論	2後	2								兼 1	
	疫学	2前	2								兼 1	
	社会保障論	2後		2							兼 1	
	社会福祉論	2後 2前		2							兼 1	
	医療安全学	2後	2								兼 1	
専門分野 (次頁へ続く)	看護学概論	1前	2			1						カリキュラム編成の見直しにより同領域(職位)の専任教員に変更(26) 早尾弘子 → 渋谷寛美 授業内容の充実を図るため、専任教員を追加(26) 専任 庄司真奈美を追加 授業の一貫性を図るため、オムニバスではなく1名の教員(基礎看護学領域・教授)が担当。基礎看護学領域の内容に重点を置き、地域看護学領域の内容を他科目(健康教育論)で実施するため一部担当教員の適用を除外(27) 授業の一貫性を図るため、オムニバスではなく1名の教員(地域看護学領域・准教授)が担当。地域看護学領域の内容に重点を置き、基礎看護学領域の内容を他科目(アセスメントと看護技術IV)で実施するため一部担当教員の適用を除外(27) 授業内容の充実を図るため、専任教員を追加(27) 教授 湯本敦子(母性)を追加 中村由美子(小児)を追加 奥原秀盛(成人)を追加 系統別授業の見直し(前期に病態治療学I・IIと同時に急性期看護論を履修)により開講時期を変更(27) 授業内容の充実を図るため、専任教員を追加(27) 教授 中村由美子(小児)を追加 精神看護学領域の内容を他科目(精神看護学)で実施するため一部担当教員の適用を除外し、精神に伴う家族看護の課題を整理。(27) 時間割調整の結果、開講時期を変更(27)
	看護コミュニケーション論	1前	1						2			
	看護展開論	1後	1						3 2			
	看護倫理学	2後	2			1						
	アセスメントと看護技術Ⅰ(日常生活支援援助)	1後	2			1			3	1		
	アセスメントと看護技術Ⅱ(治療過程支援援助)	2前	2			1			3	1		
	アセスメントと看護技術Ⅲ(療養生活支援援助)	2後	2			1			3	1		
	アセスメントと看護技術Ⅳ(健康の保持・増進援助)	3前	1			1	↓					
	地域看護論	2後	2				1					
	健康教育論	2後	1			↓	1					
	基礎看護学実習Ⅰ(地域における生活者の理解)	1後	1			1			3	1		
	基礎看護学実習Ⅱ(対象理解)	2前	1			1			7	2		
	基礎看護学実習Ⅲ(日常生活援助)	2後	2			1			8	1		
	急性期看護論	2前 2後	3			3	2		2	1		
	慢性期看護論	2後	3			2 ↓	2		2	1		
	終末期看護論	3前	2			1	2		2			
	救急救命看護論	3前		1					1			
家族看護論	2前	2			2 3	2 3						
在宅看護論	3前	2			1			3				
外来看護論	3前	1			1	2		2				
母性看護学	2前・後 2後	3			1	1		2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	小児看護学	3前	3			1	1		2			
	精神看護学	3前	3			1	1		1			
	老年看護学	3前	3			1			3			
	公衆衛生看護学概論	3前	2				1			1		
	公衆衛生看護学活動論	4前		2			1			1		
	公衆衛生看護学管理論	4後		2			1					
	成人看護学実習Ⅰ(クリティカル)	3後	2			1	2		2	1		
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後	2			1	2		2	1		
	老年看護学実習	4前	3			1			3			
	外来看護学実習	4前	1			1	2		2	1		
	母性看護学実習	3後	2			1	1		2			
	小児看護学実習	3後	2			1	1		2			
	精神看護学実習	3後	2			1	1		1			
	公衆衛生看護学実習	4前		4			1			1		
	産業保健看護学実習	4前		1			1			1		
	看護研究概論	2後 2前	1			2 4						
	看護管理学	4前	2								兼1	
	チーム医療論Ⅰ	4後	1			6	6		13	3		
	チーム医療論Ⅱ	4後	1			6	6		13	3		
	国際看護学	4後	1								兼1	
災害看護学	4後		2		1							
統合実習	4通	4			6	6		13	3			
アドバンス実習	4後	1			6	6		13	3			

授業内容の充実を図るため、専任教員を追加(27)
専任 増田元香(教授)を追加
時間割調整の結果、開講時期を変更(27)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
67	32	0	99	67	32	0	99	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	新・文明の旅総合講義	2	1・2・3・4前	一般	選択	3年ごとに開講する「大学特別科目」(4学部共通科目)のため平成26年度は未開講。平成27年度、平成30年度に開講予定。(26) 平成27年度は予定通り開講。(27)
2	新・文明の旅特講 a	2	1・2・3前	一般	選択	3年ごとに開講する「大学特別科目」(4学部共通科目)のため平成27年度は未開講(平成26年度は開講)。次回は平成29年度に開講を予定。(27)
3	新・文明の旅特講 b	2	1・2・3後	一般	選択	3年ごとに開講する「大学特別科目」(4学部共通科目)のため平成27年度は未開講(平成26年度は開講)。次回は平成29年度に開講を予定。(27)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

3年ごとに開講する「大学特別科目」(4学部共通科目)のため、平成26年度は未開講であることを4月実施のオリエンテーションで学生に周知している。今年度(平成26年度)開講の「新・文明の旅特講 a」(前期)、「新・文明の旅特講 b」(後期)のまとめの科目として平成27年度に開講を予定している。(26)
3年ごとに開講する「大学特別科目」(4学部共通科目)のため、平成27年度は未開講であることを4月実施のオリエンテーションで学生に周知している。「新・文明の旅特講 a」(前期)、「新・文明の旅特講 b」(後期)は昨年度(平成26年度)に開講しており、今年度はまとめの科目「新・文明の旅総合講義」を開講をしている。「新・文明の旅特講 a」(前期)、「新・文明の旅特講 b」(後期)の次回開講は平成29年度を予定しており、平成27年度入学生は3年次(平成29年度)に受講可能としている。(27)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	2	=	0.02
設置時の計画の授業科目数の計	99		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。